



Sakuragawa Public Relations

# さくらがわ



- 真壁の町並み調査とまちづくり
- 行政情報 市の動き／真壁地区景観づくり委員会 座談会
- 自主納税・納期内納付にご協力ください／  
第一回市民健康講座を開催／市民健康講座生募集
- 桜川市総合防災訓練

12 No.29  
2006  
/1



# 真壁の町並み調査とまちづくり

## 重要伝統的建造物群保存地区

近年、町が持つ固有の歴史的資源を活かした形のまちづくりが日本各地で盛んに行われるようになってきました。このようになまちづくりを行う際に有力な制度の一つに、国の「重要伝統的建造物群保存地区制度」があります。

これは、町の中の一定範囲を保存地区として定め、その内部の歴史的建築物を保存しようとする制度で、地区内の建物の修理や修景には補助金が支払われるしくみになっています。全国で既に79の地区が選定されており（2006年11月現在）、最近では1年あたり数地区のペースで増えています。関東地方では、埼玉県越谷市、千葉県香取市佐原が有名ですが、これまで茨城県内で選ばれた市町村はありませんでした。

旧真壁町および桜川市では、この制度を活用して真壁の町並み景観を保存することが目的とし、平成15年度から3か年度をかけて伝統的建造物群保存対策調査を行いました。この程、その調査報告書が刊行されたところです。

調査にあたり、千葉工業大学・河東義之教授を団長とする調査団が結成されました。建築史、日本史、民俗学、植物、都市計画、景観計画、建築設計、都市史などの分野の専門家の協力により調査は実施され、報告書にはその成果が収められています。以下ではこの調査結果の内容をご紹介しますと共に、今後のまちづくりについて若干の私見を述べたいと思います。

中心となって行なった、個別の建造物の調査作業からは、真壁の町並み一帯に304棟もの伝統的建築物（戦前までに建てられた建築物）が残されていることが分かりました。このうち104棟は既に国の登録文化財に登録されていますが、実にその3倍もの数の建築物が町に残されていることになりました。

しかも、これらには様々なタイプのものが含まれていることも判明しました。一般に

この度、平成15年度から3年間にわたり教育委員会が取り組んでまいりました、桜川市真壁町伝統的建造物群保存対策調査が完了し、調査報告書「真壁の町並み」が完成いたしました。今月号では、その調査団の一員でもありますが、筑波大学大学院・助教藤川昌樹先生のご意見を掲載し、その概要をお知らせいたします。

なお、同報告書は一般配布（価格：2千円/税込）いたします。

■申込先／教育委員会文化課（☎0296-55-1111代表）

## 町並みの特徴

一方、町並みの歴史やその景観の調査作業の結果、戦国時代から現在に至る町並みの変遷が解明されました。報告書には、各時代の町の暮らしの様子や建物の使われ方、そして町並みの範囲がどのように移り変わりながら現在に至ったかが、豊富な図版と共に詳細に記述されています。

さらに調査は、町並みの色彩上の特徴や、町並みに存在する建築物以外の景観要素（山・樹木・寺社・石仏など）にまでも及びました。こうして細部にわたって町並みの特徴も解き明かされました。

## 町並みの保存計画

個別の建造物の調査、町並みの歴史やその景観の調査作業や住民の方々へのアンケート調査、さらにはこれまでのまちづくりの経緯の調査をもとに、保存計画の策定へと考察は進められました。しかし、真壁の場合、通常の町並みの保存計画とは異なる難しい側面もありました。

まず、真壁の町並みに現存する建造物は、比較的広い面積に散在しているため、どの範囲を保存地区とするかに熟慮が必要で、また、江戸時代初頭に形成された町割りやほとんど変わらずに残っていること、町並みからみえる山々の景観が素晴らしいことなどを、

## 調査から行動へ

まちづくりは終わりのない持続的な営みです。調査報告書の刊行はこの長い活動の始まりに過ぎません。しかし、調査自体が目的ではないからこそ、この調査をもとに次に

何をなすべきかが重要になります。私は3年間の調査を終え、真壁の町並みは、保存に値するすばらしい魅力を持った町並みだと確信するに至りました。しかし、この町並みの魅力は失われやすいものであり、何らかの積極的な保護を施さねば遠からぬうちに消失します。調査期間の間にも、様々な理由により歴史的建造物は少しずつ姿を消しています。このままでは、魅力的な町並みは平凡な町並みに変わってしまうでしょう。

そうなる前に何らかの手を打たねばならない。そしてそのためには、何よりも住民の皆さんの決断と行動が必要です。決断には不安も伴うものであり、一定の覚悟が必要となります。メリット・デメリットについて事前に十分に把握しておく必要もあるでしょう。

町並みの今後について、住民の皆さんや行政担当者の方たちとともに、慎重に考えながらも、大胆に行動に移すためのお手伝いをしていきたいと考えております。

（筑波大学大学院・助教 藤川昌樹）

は真壁のような一定以上の規模を持つ町には、「町家」と呼ばれる都市型の住宅が建てられることが多いが、真壁には周辺の農村部の家々とあまり変わらない「農家」風の住宅も存在します。また、町家にも重厚な土蔵造りの「見世蔵」がある一方で、「塗屋」と呼ばれる防火構造の町家、店舗・住宅として使われている一般の木造の町家があり、さらに木造の工場、洋風の建築など多種多様な建築物が今もなお健在です。それぞれは、屋根の向きや形式などにも様々のものがあり、その結果として町並みの景観は実に変化に富んだものとなっています。

ただし、建築物は古いものでも19世紀半ば頃の建築もよそ19世紀半ばから終戦を迎えた20世紀半ばまでの、ほぼ1世紀の間に建てられていることもわかりました。町自体の歴史はずっと古いが、建築に着目すると時代的には「近代」のものがほとんどでした。また、町並みの中に比較的分散する形でこれらの建築物が立地していることも明らかとなりました。

町並みの歴史やその景観の調査作業による興味深い成果のうち、ここでは中野茂夫氏（筑波大学準研究員）によって作成された明治35（1902）年の町並みの復元平面図（報告書70・71頁参照）をご紹介します。この図は、当時の家屋税台帳

伝統的な町屋建築として創建当時（明治中期）の面影をとどめている伊勢屋旅館（田中家）

# 行政の動き情報

**助役に山田耕一氏が就任**  
平成18年10月27日の第3回市議会定例会で、山田耕一氏が助役に選任され、11月1日に就任いたしました。



助 役  
山田 耕一 氏  
(岩瀬地区)

**■主な経歴**  
旧岩瀬町議会議員／同町助役  
市監査委員に塚本明氏が選任  
平成18年10月3日の第2回市議会臨時会で塚本明氏が市監査委員として選任されました。



市監査委員  
塚本 明 氏  
(真壁町源法寺地区)

**■主な経歴**  
旧真壁町議会議員／同町議長  
議長／桜川市議会副議長

の景観であり、田園景観とか森林景観とか全部含めた景観を、もっと積極的に住んでいける人たちが基本的に考えていかなければ、守れないというのが私の基本です。

私は、森林景観とか田園景観とかが必ず景観条例の中には必要だと思えます。というのも私は15年以上の環境保全の問題に携わってきたのですが、その中でいよいよ環境保全を考えていかないと、地域社会はメチャメチャになっちゃってしまわないかと強く感じているからです。ですから真壁の街の中に住んでる人たちが目で見た景観だけを気にするのはなくて、足下とか手で感じることで、そこから聞き取る音とか、人が持っている五感というものを全部含めた中から、景観を考えていく必要があるんじゃないかと思えます。

私は、もともと水の水の音が聞こえそして四季折々にいろんな薫りがして、見て楽しい住みよい地域づくりをすることが、これからの景観づくりの基本だと考えています。



真壁地区景観づくり委員会委員と懇談する中田市長



座談会には、中田市長をはじめ20人が参加し活発な意見交換が行われました。

## 桜川市の景観づくり

## 真壁地区景観づくり委員会 座談会

桜川市では、美しく魅力あるまちの空間づくりを目標に「景観づくり」を進めています。

現在は、真壁地区において真壁地区景観づくり委員会を組織し、ワークショップ（参加者の提案などをまとめていく集まり）を通じて、景観づくりの計画や景観条例をつくるための案づくりを行っています。

今回は、去る10月15日（日）真壁福祉センターで開催された「真壁地区景観づくり委員会」座談会の概要をご紹介します。

### 意見・質問（田中委員）



私は、景観条例の制定にあたり、市民の理解を深めていくということが非常に大切なことだと思っています。

機運が高まるという言葉がありますが、例えば日常的に景観の話が住民の間でされるとか、具体的にはどういう状態が、機運が高まっているのか分からないという事もあり、どうやって住民の意識を高めてついたら良いのか時々考えます。例えば、ひなまつりの時、一番住民の皆さんの意識が上がる状態だと思えますので、そういうときに例えばイベントをすることで、ポスターを配るとか、あるいはチラシを持って説明に行くとか、何かできないかなと考えています。いろんな方の知恵を出し合って、住民の機運を高めるにはどうしたらいいのかというのを、検討していきたいと思っています。

### 市の回答

景観条例を制定するためには、市民の皆さんに十分な周知を図り、理解を深めていくことが、必要不可欠なことだと考えています。現在は、広報さくらがわで周知を図っております。今後は、より周知を図っていくためにも、景観づくりのPRの予算も必要だと思っております。田中委員の意見のように、みんなで知恵を出し合っていきたいと思っています。

### 意見・質問（武村委員）



私たち建築士会では、真壁町の街並みや風景を考えるまちづくりワークショップを開催しています。

今年は、その中で実際にいただいた意見の地元の住民の方にご協力いただきながら、工事に入ろうというような考えでおります。小さなことから実際に実現し、地元の方々に見ていただくことで、住んで

### 意見・質問（吾妻委員）



各地方自治体が独自に景観条例などをつくって、日本全体でかなりの数の自治体がまちづくりをしてきた経緯があると思います。

例えば、私が知るころには、飛騨古川市です。そこは景観条例をかなり以前に制定し、いろんな約束事を作った、街並みを全戸形成して、非常にきれいなすばらしい街でした。ここは、住民の皆さんが自分たちで街をつくっているということ、非常に生活感があります。そういう街を旧真壁町でも目指して、今までやってきた経緯があります。

景観法が制定されたということで茨城県でも、守谷市・つくば市・水戸市が景観行政団体になりました。桜川市でも景観行政団体にいち早く手を挙げて、茨城県内・または国レベルで考えても、桜川市

### 意見・質問（塚本委員）



私は、町並み案内ボランティアをしています。市外から、たくさんの方が真壁の街を観光に訪れています。皆さんが口々に「きれいな街ですね」と言ってくれます。案内をしている私もうれしく思っています。市外の方々からき

れいだといわれる街を誇りに思っています。しかし、もし大きな建物が建つなどして、景観が壊れていってしまったらと憂えています。早く景観条例をつくらなければならぬと考えています。

### 市の回答・中田市長

皆さんと共に景観または風景の将来像というものを共有しながら、皆さんと一緒に手づくりでまちづくりを進めてまいりたいと考えています。そのことよってまちづくりに参加する市民の方々が増えていくと思います。今後は、市民の皆さんが主役のまちづくりを進めていきたいと思っております。

### 交通安全高齢者自転車競技茨城県大会で桜川地区チームが優勝

那珂市那珂総合公園アリーナで開催された「第4回交通安全高齢者自転車競技茨城県大会」で、桜川地区チームが団体の部で優勝に輝きました。

この大会は、競技を通じて自転車の正しい乗り方を身に付けてもらうことで、高齢者の交通事故防止を図ろうと開催されるもので、県内各地区（各警察署管内）から28チーム・72人が参加。会場内に設置された模擬コースで、交差点の右左折・踏切通過などの法規走行や一本橋・スラローム走行での安定性を競いました。

また、個人の部では、加藤征一さん（真壁地区／写真前列右から2番目）が優勝、高橋孝三さん（御領地区／写真前列左側）が準優勝を果たしました。



高齢者自転車競技茨城県大会で優勝した桜川地区チームのみなさんとそれを陰で支えた関係者のみなさん

### 園児がハンカチで天然藍染めを体験

まかべ幼稚園と真壁保育園の園児211人が、ハンカチを使って天然藍染めの体験をしました。

これは、真壁藍保存会の協力を得て行われたもので、園児達は藍独特の臭いにも驚きながらも、染液から取り出して空気や光にあたるたびに藍の色が濃くなる様に驚きの声を上げていました。

天然藍染めは、植物の藍の葉を乾燥・発酵させて、石灰と灰汁・麩（小麦の殻）と日本酒を混ぜた染液で染める方法で、藍染めの青は「ジャパン・ブルー」として世界に知られるほど深く鮮やかな日本の色です。



ビーズや輪ゴムなどを使って、白いハンカチに模様をつくり、世界にひとつしかない自分だけのオリジナルハンカチができました。

### 全日本ターゲット・バードゴルフ大会で全員が好成績

岩手県一戸町で行われた「第4回全日本ターゲット・バードゴルフ大会」で、本市から参加した青木清子さん（長方地区／写真前列右から2番目）が、女子一般の部で第3位の見事な成績を収めました。また、女子ゴールドシニアの部では深谷信子さん（下泉地区／写真前列左から2番目）が5位・高橋照子さん（下泉地区／写真前列右側）が6位、男子ゴールドシニアで斉藤芳実さん（大田地区／写真後列左側）が第8位、男子一般で青木儀男さん（長方地区／写真後列右側）が10位との成績を収めました。皆さんは、全国大会予選会茨城県大会をスコアで通過。今大会の出場となりました。



全日本ターゲット・バードゴルフ大会に参加された5人の方は「毎日の練習の成果が出ました」と述べていました。

### 高齢者の交通事故を防止しようと交通安全高齢者輪投げ大会を開催

秋の全国交通安全期間中の9月28日（木）、大和体育館を会場に桜川市交通対策協議会主催の「交通安全高齢者輪投げ大会」が開催されました。

この大会は、高齢化社会を迎え、高齢者の交通事故が多発・増加している現状から、競技をつうじて高齢者の交通安全意識の高揚をはかることで交通事故を防止しようと開催されました。大会には、市内から9チーム・45人が参加。競技は、会場内のコースに設置された交通安全施設通過と輪投げを交互に行い、その施設通過時の得点と投輪の合計得点で競われました。結果、岩瀬西部チームが優勝を飾りました。



真剣な眼差しで4メートル先のボールをねらい、高得点が出るたびに会場から歓声が上がりました。

### 68チームが参加して第1回桜川市ソフトボール協会秋季大会を開催

真壁運動場をメイン会場に「第1回桜川市ソフトボール協会秋季大会」が開催されました。

大会には、お父さんの部に57チーム、壮年の部に11チームが参加。第1回の優勝杯を目指して熱戦が繰り広げられました。結果、お父さんの部は「上小幡ソフトクラブ」、壮年の部は「東矢貝壮年」が優勝しました。

#### 【大会結果】

- お父さんの部
- 優勝 上小幡ソフトクラブ（真壁地区／写真左）
  - 準優勝 元岩瀬B（岩瀬地区）
  - 3位 元岩瀬E（岩瀬地区）
  - 〃 酒寄パワーズ（真壁地区）



お父さんの部に優勝した、上小幡ソフトクラブのみなさん 壮年の部に優勝した、東矢貝壮年のみなさん

- 壮年の部
- 優勝 東矢貝壮年（真壁地区／写真右）
  - 準優勝 羽鳥壮年（真壁地区）
  - 3位 田A壮年（真壁地区）
  - 〃 飯塚壮年（真壁地区）

### 「食育」に関する講演会を開催

岩瀬中央公民館で、中川学園調理技術専門学校料理教室代表 中川一恵先生を講師に迎え、「桜川市幼稚園における親の子育て力向上教育講演会」と題して食育に関する講演会（講演テーマ：未来に伝えたい常世の食）が開催されました。

毎日の食事は私たちの健康な体を作る源であり、特に一生の健康を左右する乳幼児期には、質にこだわった食事をとらなければなりません。その正しい食の知識を身につけることが「食育」です。講演会に参加した子ども達の保護者など約100人は、「どんなものを食べたら安全か危険かという「選食」の力や知識を身につける」「食事についてのしつけをしっかりと行い、バランスのよい食事を心がける」などの同氏の講演に聴き入っていました。



桜川市幼稚園における親の子育て力向上教育講演会で、「未来に伝えたい常世の食」をテーマに講演する中川一恵先生



# 自主納税・納期内納付にご協力ください

## 自主納税と納期内納付

市税は、納税者の皆さんに定められた納期内までに、自主的に納付していただくものです。

納税者の皆さんから納付していただく市税は、桜川市の福祉や教育、土木事業などに使われる非常に貴重な財源となります。

市税の滞納は、市にとって大きな損失となります。皆さんの貴重な税金を有効に活用するために、納期内納付をお願いいたします。

## 市税の滞納について

納期限までに市税を納めないと督促状、さらには催告状などを送付して納付をお願いしています。また、滞納した場合には、本来納めるべき本税額のほかに督促手数料や延滞金が加算され、滞納処分(財産の差押え)の対象となります。

## 滞納処分について

市税を滞納したままでいると、納期内に納めた納税者との公平を守るため、また大切な市税を確保するために、「茨

城租税債権管理機構」という徴収専門の組織に依頼することになります。

## 「茨城租税債権管理機構」とは

茨城租税債権管理機構とは、平成13年4月に設立された地方自治法に基づく特別地方公共団体(一部事務組合)で、市町村税の滞納整理業務を専門的に行う機関です。

機構は、弁護士や税理士、元国税局職員など債権回収の専門家を顧問として、市町村で徴収困難な滞納事案を引き受け、徹底した財産調査や財産の差押・公売などの滞納処分を行っています。

## 納税の相談は早めに

納税者が災害を受けたり病気にかかるなど、どうしても納税が困難な場合は、お早めに納税相談をしてください。

## ■問合せ

- ・大和庁舎 収納管理室 (☎0296-5815111代表)
- ・岩瀬庁舎 税務課 (☎0296-7513111代表)
- ・真壁庁舎 税務課 (☎0296-5511111代表)

## 第1回 市民健康講座を開催

去る10月19日(金)、第1回市民健康講座が岩瀬福祉センターで開催されました。

これは、市民の皆様の健康づくりを目的に9回シリーズで行われるもので、第1回目は袖山医院本院 袖山巴恵子先生から「中高年の健康管理」―自分の身体に目を向けよう―と題して講話がありました。当日参加した約50人の方は、先生の中高年の健康管理ポイントの解りやすい説明に熱心に耳を傾けていました。

参加者中最高齢者の90歳女性の方は「血圧が高いぐらいで寝込んだ事はない。」と元気に話されていました。この方に、日頃自分の健康状態に留意しいつまでも元気でいたいものです。

健康づくりは、「健康で長生きしたい。そのために、自分はどうしたらよいか?」から始まります。様々な情報があふれる時代。正しい知識を得、現代にあった健康づくりを実践してみませんか。

## 市民健康講座生募集

市民の皆様の健康づくりのために健康講座を開催いたします。お気軽にご参加ください。

- 開催時間/13時30分〜15時
- 申込方法/各教室とも電話で受け付けいたします。
- 募集人員/百人(定員になり次第締め切ります。)

循環器疾患の予防、あなたは大丈夫?メタボリックシンドローム

・実施日および場所/1月16日(火) 真壁福祉センター

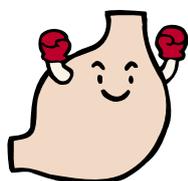
今後も、来年2月まで左記の講座が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。



市民健康講座で「中高年の健康管理」をテーマに講演する袖山巴恵子先生

威先生、保健所歯科衛生士  
物忘れ・認知症について  
物忘れの経験ありますか?

- ・実施日および場所/2月23日(金) 真壁福祉センター
- ・講師/阿部田医院 阿部田 聡先生
- 申込先/健康推進課健康づくり係 (☎0296-7513111・2486)



# 歴

## 史民俗資料館だより

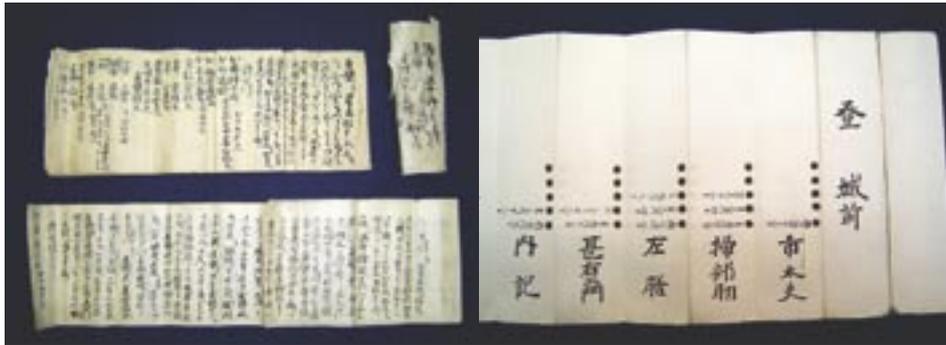
No.14  
☎ 0296-55-0556  
FAX 0296-20-7108

今月のおすすめ展示資料

### 近世中期～明治期の真壁家旧蔵文書

このたび新たに収蔵した、真壁家旧蔵文書をご紹介します。

中世に桜川地方南半を支配した真壁家の古文書は、現在は分割されて伝来しています。中世文書は徳富蘇峰によって東京のお茶の水図書館に所蔵され、近世文書や肖像画、旗指物などは本家の真壁博家から寄贈され、資料館に収蔵しています。他に真壁分家や角館の資料館から寄贈された古文書もあります。今回、新収した史料は真壁本家の江戸時代から明治時代にかけての古文書で、戦国から江戸初期に活躍した家臣、酒寄要庵の自筆書状が含まれています。明治後期に真壁町内を經由して古書店に売却されたものの一部です。酒寄氏は真壁氏家臣で、天正期には真壁房幹に従って



右／秋田城への出勤簿  
左／酒寄要庵の自筆書状

柿岡に住んだといわれています。

「常陸日月牌過去帳」には天正6年と12年に酒寄備前を、天正13年と19年に酒寄右近をいづれも柿岡で確認でき、元禄期の当主真壁充幹は「当家万覚書」の中で酒寄要庵自筆の「手這合戦記」を筆写した後、要庵は酒寄備前の孫であると記しています。「真壁由緒記」によると、要庵は天正18年に柿岡で生まれ、文禄4年に佐竹氏による配置換えで真壁房幹が上大島に移転したのと同じく、国替え後の慶長15年に真壁房幹と共に出羽の角館へ移ったと記されています。真壁家の系図や伝承はいずれも酒寄要庵の影響を大きく受けており、これらの要庵自筆書状は、真壁家の歴史認識において重要な役割を担った史料と言えます。

### 古文書の解読講座

「初心者コース」が終了  
来春継続講座も

9月～10月にかけて5回にわたる古文書の解読講座が終了しました。岩瀬地区で開催するのははじめてとあって、11人の方が参加されました。

あらかじめ配布された年貢の割付状（飯塚村と飯淵村）と上小幡村、飯淵村の村明細帳をテキストにし、字書を片手に解読に挑戦。宿題も課せられるなど、每回きびしい授業となりました。しかし、出席率もよく、脱落者もなく無事修了いたしました。本講座は、引き続き学習したいという参加された皆さんからの要望を受けて、来春は初級講座の続編を開講予定です。ぜひ、ご参加ください。



次回の解読講座史料

### 歴史文化講座④

「戦国の城真壁城を掘る」

去る11月18日、歴史文化講座④「戦国の城真壁城を掘る」が、真壁中央公民館で開催され、50人を超える多くの方が参加しました。

最新の発掘成果や史料をもとに、鬼道無こと真壁久幹が活躍した戦国時代の兵力や武器の使い方、戦略と手這坂の合戦などについて、スライドと資料を使って勉強しました。今回は12月16日、「忠臣蔵と桜川地方」です。是非ご参加下さい。



歴史文化講座の様子

※本ページ「歴史民俗資料館だより」は、紙面の都合上、新年から奇数月で掲載することになりました。

## ● 1月の予防接種

対象：岩瀬・大和地区の方（会場 / 岩瀬福祉センター）

月 日	種 目	対 象	受 付 時 間	持 参 する 物
1/9 (火)	BCG	H18. 9月生	13:00 ~ 13:10	母子健康手帳・BCG予診票・体温計
1/19 (金)	三種混合I期初回 - 1回目	H18. 6月~7月生	13:30 ~ 14:00	母子健康手帳・体温計・予診票
	三種混合I期初回 - 3回目	H18. 4月~5月生		
	三種混合I期 追加	H16. 7月~10月生		

対象：真壁地区の方（会場 / 真壁保健センター）

月 日	種 目	対 象	受 付 時 間	持 参 する 物
1/10 (水)	BCG	H18. 9月生	13:10 ~ 13:30	母子健康手帳・BCG予診票・体温計
1/17 (水)	三種混合I期初回 - 1回目	H18. 6月~7月生	13:30 ~ 14:00	母子健康手帳・体温計・予診票
	三種混合I期初回 - 3回目	H18. 4月~5月生		

## ● 1月の乳幼児健診・相談

対象 / 岩瀬・大和地区の方（会場 / 岩瀬福祉センター）

月 日	種 目	対 象	受 付 時 間	持 参 する 物
1/9 (火)	3か月児育児相談	H18. 9月生	13:00 ~ 13:10	母子健康手帳・問診票・バスタオル
1/23 (火)	3歳児健診	H15.10月~11月生	13:00 ~ 13:10	母子健康手帳・問診票・バスタオル
1/26 (金)	2歳児歯科健診	H16.10月~11月生	13:00 ~ 13:10	母子健康手帳・問診票・バスタオル
1/29 (月)	1歳児健診	H18. 1月生	13:00 ~ 13:10	母子健康手帳・問診票・バスタオル

対象 / 真壁地区の方（会場 / 真壁保健センター）

月 日	種 目	対 象	受 付 時 間	持 参 する 物
1/10 (水)	3か月児育児相談	H18. 9月生	13:10 ~ 13:30	母子健康手帳・問診票・バスタオル
1/18 (木)	1歳児健診	H17.12月~H18. 1月生	13:10 ~ 13:30	母子健康手帳・問診票・バスタオル
1/25 (木)	1歳6か月児健診	H17. 4月~5月生	13:10 ~ 13:30	母子健康手帳・問診票・バスタオル

## ● 1月の精神保健

月 日	種 目	開 催 時 間	備 考
1/18 (木)	こころの健康相談	13:00 ~ 15:00	精神科医師が担当し、秘密は厳守されます。(要予約) 会場：岩瀬福祉センター
第2・3・4・5 火曜日	精神保健デイケア	9:30 ~ 11:30	仲間と楽しい時間を過ごしませんか。お気軽にどうぞ。 (要申込)

## ● 1月の休日応急診療医療機関

月 日	医 療 機 関 名	住 所	☎	受 付 時 間
1/1 (月)	なかはら整形外科医院	真壁町飯塚 496-1	0296-23-9955	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00 (保険証は必ず持参)
	県西総合病院	鍛田 604	0296-75-3171	
1/2 (火)	仁保内科医院	真壁町真壁 425	0296-23-8088	
	県西総合病院	鍛田 604	0296-75-3171	
1/3 (水)	安達医院	真壁町田 296	0296-55-0061	
	県西総合病院	鍛田 604	0296-75-3171	
1/7 (日)	山王病院	岩瀬 42	0296-75-0600	
	内科宮本医院	真壁町古城 229-1	0296-55-0101	
	県西総合病院	鍛田 604	0296-75-3171	
1/8 (月)	上の原病院	上野原地新田 159-2	0296-75-3128	
	大塚外科医院	真壁町亀熊 1900	0296-55-0512	
1/14 (日)	鑑木クリニック	加茂部 4-1	0296-76-3131	
	塚田医院	真壁町飯塚 97-1	0296-55-0585	
1/21 (日)	平島医院	岩瀬 198	0296-75-2510	
	田崎内科医院	真壁町田 268	0296-55-2511	
1/28 (日)	袖山医院本院	西桜川 1-43	0296-75-2019	
	阿部田医院	真壁町亀熊 123-1	0296-55-0305	
	県西総合病院	鍛田 604	0296-75-3171	

## 大和中央公民館図書室

### 《一般図書》

月夜見の島	青来 有一
燃ゆる想ひを	鈴木輝一郎
俺たちの戦争	荻原 裕
空中	有川 裕
卒業	重松 清
江戸まぼろし草子	海野 弘
深尾くれない	宇江佐真里
逆襲の地平線	逢坂 剛
アラビアの夜の種族	古川日出男

貸出期間▶2週間(1人5冊まで)  
 開放時間▶9:00~17:00  
 休館日▶月曜日・祝祭日  
 問合先▶☎0296-58-7117

### 【今月のおすすめ図書】



輪違屋系里 浅田 次郎

## 岩瀬中央公民館図書室

### 《一般図書》

25時のイヴたち	明野 照葉
私一人	大竹しのぶ
赤い運命	関 えり香
赤い奇跡	瀧川 晃代
今夜は心だけを抱いて	唯川 恵
日はまた昇る	ビル・エモット
老年よ、「我まま」に生きよ	木原 武一
木村祐一 ベストレシピ	木村 祐一
茨城県の歴史散歩	茨城県地域史研究会編
茨城の史跡と天然記念物	山崎 睦男 高根 信和
茨城の滝	水嶋 保(写真)

貸出期間▶2週間(1人5冊まで)  
 開放時間▶9:00~17:00  
 休館日▶月曜日・祝祭日  
 問合先▶☎0296-75-0344

### 【今月のおすすめ図書】



愛の絆 三つの介護  
 佐津川 榮子

## 真壁中央公民館図書室

### 《児童図書》

スプーンおばさんのお料理絵本(全3巻)	アルフ・プジョイセン 田中史子 株田馨
のだめカンタービレ(16巻)	二ノ宮知子
Dr.コトー診療所(20巻)	山田 貴敏
ダイヤモンドより平和がほしい	後藤 健二
マンボウのマリンちゃんありがとう	中谷 優子
ぼく、がんばったんだよ	沢田 俊子
戦争孤児ロンくんの涙	アンドレ・ウォーレン もりうちすみこ
星になった少年	坂本小百合・島田和子
広島昭和20年8月6日	遊川 和彦

貸出期間▶本:2週間(1人5冊) / ビデオ:1週間(1人1本)  
 開放時間▶9:00~17:00  
 休館日▶月曜日・祝祭日  
 問合先▶☎0296-55-0159

### 【今月のおすすめ図書】



子どものための敬語の本  
 ながた みかこ

### 《一般図書》

ダヤンカフェ(わちふいーどのお菓子)	池田あきこ
天使の卵	村山 由佳
君がくれたもの	chaco
心にナイフをしのばせて	奥野 修司
憲法9条を世界遺産に	太田 光 中沢 新一

# 桜川文芸

## 俳句

【大和俳句愛好会】

米寿てふ達者が自慢茄子の花

鈴木ふみい

子と数ふ蔵の軒下蟻地獄

中島 龍子

オートバイ轟音残す夏の果

北条 正子

豊作を兆す稲穂のゆれたしか

鈴木 綾子

穂田の波音なく風のひろがれる

鈴木登美子

習わしを語り継ぎゆく盆三日

古橋 益子

潮の香を部屋に運びて夏館

成田 あさ

小春日やいのちふたたび草の花

鈴木 とみ

【桜川岩瀬俳句会】

姥拾の昔を偲ぶ敬老日

福田 まさ

舞い踊る風のいたすら萩の花

菊池 すい

散策の老ひに語るや赤蜻蛉

大関しづ子

松ヶ枝にからみて紅しつたもみじ

長井 冬扇

風ふけば風にしたがい木の葉落ち

石堀 みき

## 短歌

【やまと短歌会】

ひらひらと低く舞いたる蝶ふたつ休耕

田の草陰に消ゆ

北条 正子

羽化に入る蝶のみどりの繭みつめ子ら

の鼓動の早まるらしき

深谷 快子

おびただしき紋白蝶飛ぶキャベツ畑近

寄り見れば虫の住みをり

佐藤美代子

オルガンのへてふてふのうた響かせ

し学び舎遠く泣きべそのわれ

塩谷 明子

食卓に熱きコーンのスープ有り孫の笑

顔にかみしむ甘さ

皆川 米子

蒼色のガラス細工のでふひとつ求めし

思い出安曇野の夏

野村 幸男

晩秋の風は音立て吹きすさぶ部屋内に

ひとり口ずさむ童謡

和泉 稲子

【岩瀬短歌会】

あら草を引きてやれやれは一週間早やも芽吹ける生命にたぢろぐ

片岡喜知子

肩上げの祭半纏着こなして孫は目で追う神輿の子らを

浜野和 操

逝きてはや三年経たり愛でましし老木の藤の花咲くを夫よ

大関にち子

農業の経営大きく変はる今子らと思案す農機洗ひつつ

萩原きしの

幼子の綱を次つぎ逃れゆき蟬は楓にて声たかく鳴く

古賀 澄

炎天の墓に真白きさるすべり空襲の夜の想ひ出遙か

鈴木美津子

朝つゆに光るなすびの花の色もんべ姿亡き母浮かび来

渡辺しな子

韓国の農家の垣に見し木樅年経てなほも吾が裡にあり

中原 宇内

風に楡の並木のみどり深く濃くはたまた浅く淡くそよげる

大関 節子

秋陽背に夫と札所をめぐりきぬ石段高く喘ぎつつ詣づ

長谷川玲子

## 言葉の履歴書

### 味噌をつける

「味噌をつける」と言えば、しくじったり、面目を失ったりするような場合を指します。これは、味噌が器物にくっついていてと見苦しいということからきた表現です。

「味噌を塗る」も「泥を塗る」と同じく、体面をけがす意外に用いられます。

味噌は中央アジアにはじまり、中国や朝鮮を経て6世紀ごろ、わが国に伝来した調味料。朝鮮語のミソ(蜜祖)からきた外来語とされています。日本人には古くから親しまれてきたので、味噌に関する語句やことわざは少なくありません。

昔の農家では、自家製の「手前味噌」を作りました。冬に大豆を軟らかく煮てつぶし、くずれたのをまるめた「味噌玉」(俳句では春の季語)を、軒下につるして乾燥させます。秋に麴(蒸した米・麦・豆に麴菌を繁殖させたもの)と塩をまぜて、独自の味に仕込みました。

「手前味噌を並べる」は、自分のものを自分でほめること。工夫や趣向をこらした点を指して「そこがミソ」というようにもなりました。

筑西広域圏

桜川市総合防災訓練



「桜川市羽田付近を震源とする、震度6弱の直下型地震が発生した。」との想定のもと、市役所大和庁舎駐車場で、桜川市・桜川市消防団・筑西広域市町村圏事務組合消防本部主催の「桜川市総合防災訓練」が開催されました。

これは、防災訓練を実施することで、災害関係機関相互の協力体制を強化して防災活動が迅速に実施できるよう、市民の皆様の防災に対する理解と意識の高揚を目的に行われました。



けが人の応急救護は協力し合うことが大切です。

当日は、桜川警察署をはじめ17団体の協力のもと、訓練関係者や地域住民の方、約800人が参加。午前9時に防災無線による地震発生および非常参集訓練開始の放送から始まり、住民避難訓練、初期消火訓練、応急救護訓練、給食・給水訓練などが行われました。

地震などの災害についての知識や備えは、いざという時大きな力となります。日頃から防災意識を持つように心がけましょう。



大和分署員の指導による消火器を使った初期消火訓練も行われた。

わが家の笑顔



しば たくま ちゃん

平成14年8月16日生

(真壁町椎尾地区)

お母さんからひとこと

いつも元気な琢磨くん。家族をいつも和ませてくれます。

これからも明るく思いやりのある子でいて下さいね。



うえの くるみ ちゃん(写真右)

平成15年5月26日生

うえの あずみ ちゃん(写真中央)

平成18年8月20日生

(真壁町真壁地区)

お母さんからひとこと

わが家のちびまる子は、8月に妹が生まれたので、「私の名前はお姉ちゃんになったのよ」と言っています。妹をヨロシクネ!

※このコーナーに掲載をご希望の方は、市役所秘書広報課(☎0296-58-5111/内線1267)までご連絡ください。

広報 さくらがわ No.29 12月1日発行

発行：桜川市/月2回(1日/15日)  
 編集：市長公室秘書広報課  
 TEL：0296-58-5111(代表)  
 FAX：0296-58-5115  
 〒309-1293 茨城県桜川市羽田1023番地  
 ホームページ <http://city.sakuragawa.lg.jp>  
 Eメール [info@city.sakuragawa.lg.jp](mailto:info@city.sakuragawa.lg.jp)



【さわやかな秋風を感じながらウォーキング】

桜川市誕生1周年記念と市民の皆さんの健康づくりを目的に、「いばらきヘルスロードウォーキング大会」(主催：筑西保健所)が開催されました。

当日参加された300余人の皆さんは、さわやかな秋風の中、10kmと5kmコースに分かれて、友達や家族と会話をはずませながら心地よい汗を流しました。ウォーキングは最も手軽にできる健康法です。皆さんも、ご自分のペースでウォーキングをはじめてはいかがでしょうか。



この広報紙は、環境保護のために古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています